

PRIMERGY RX1330 M5/TX1310 M5(BMC 対応)/TX1320 M5/TX1330 M5**ご使用上の留意・注意事項**

PRIMERGY RX1330 M5/TX1310 M5(BMC 対応)/TX1320 M5/TX1330 M5 に関して、以下の留意・注意事項がございます。製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

2022 年 6 月
富士通株式会社

【制限事項】**1. Wake On LAN(WOL)のご使用制限について**

Windows Server 2022 で下記 NIC における Wake On LAN 機能はご使用いただけません。

- Onboard LAN ポート
- Intel I210 カード [PY*LA201]
- Intel I350 カード [PY*LA262/PYBLA262L]

2. LAN カードの iSCSI 制限について

LAN カードをご使用する場合、iSCSI 設定しても動作しません。

iSCSI を使用する場合、ファイバーチャネルカードをご使用ください。

3. Onboard LAN1 の Shared LAN 使用制限について

Onboard LAN1 は Shared LAN として使用できません。

BIOS セットアップメニューで Server Mgmt->iRMC LAN Parameters Configuration

->Management LAN Port を Shared に変更しないでください。

また、iRMC Web UI の Settings->Network Management->Network Interface->Network Port を Shared LAN1 に変更しないでください

4. Management LAN ポートの 100Mbps 接続について

100Mbps のネットワーク環境では通信できません。

Management LAN ポートから iRMC への接続は 1Gbps のネットワーク環境で接続してください。

5. iRMC Web UI の eLCM の Deployment について

iRMC Web UI の Tools->Deployment->Update Service Platform より、最新版の eLCM の Deployment モジュールの更新に失敗します。

一度、iRMC WebUI の Tools->Internal Storage で SD カードから Deployment モジュールを削除し、Tools->Deployment->Update Service Platform で再度、最新版をダウンロードしてください。

6. iRMC Web UI の Deployment 機能について

ServerView Agentless Service がインストールされていない環境、かつ、サーバが電源 On された状態で、iRMC Web UI の Tools->Deployment->Deployment Process より、OS インストールプロファイルを選択し Deployment を実行した際に、Deployment がエラー終了する場合があります。

ServerView Agentless Service がインストールされた環境でご使用ください。

または、サーバが電源 Off された状態で Deployment 機能をご使用ください。

7. iRMC Web UI の BIOS TFTP Update について

iRMC WebUI の BIOS Update で Update Source に TFTP を指定すると BIOS の Update ができない場合があります。iRMC Web UI の BIOS Update では、Update Source に Image File を指定してください。または、ASP Update を使用してください。

8. iRMC Web UI の RAID 論理ディスク作成について

iRMC WebUI の Mass Storage->Storage Controllers の Create Logical Drive メニューでは、RAID10 および RAID50 のみ論理ドライブ作成ができません。

RAID10 および RAID50 の論理ドライブ作成は、BIOS の HII Configuration Utility や ServerView Installation Manager(SVIM) を使用してください。

9. 電源ケーブル接続後の SEL メッセージの日時について

電源ケーブル接続後、iRMC が起動してからサーバが電源 On するまでの間、iRMC が検出した SEL イベントは 2000-01-01 からの日付で記録される可能性があります。

日付表示のみの問題であるため、出力されたイベントに従って、対処してください。

10. iRMC Web UI のファイバーチャネルカード(32Gbps)関連情報の表示について

ファイバーチャネルカード[LPe35000(PY*FC421)/LPe35002(PY*FC422)]をご使用時、iRMC の Web UI で System->Network->Network Adapters に WWN などのネットワーク関連情報が表示されません。

また、LPe35000/LPe35002 を使用時、FUJITSU Software Infrastructure Manager の仮想 IO 管理機能は使用できません。

ファイバーチャネルカードの設定情報の確認、または設定を実施したい場合は、BIOS セットアップメニューで Advanced->"Emulex LightPulse LPe3500x-***"をご使用ください。

11. iRMC の SD カード関連 SEL 誤検出について

AC 電源投入時や iRMC リセット後の iRMC 起動時に、下記の Minor イベントが SEL に誤って記録される場合があります。

- 160040 SD card is not present. No SD card-based activities related to the iRMC/BIOS firmware restore feature can be performed.
- 16004A Restore of iRMC firmware %x omitted due to an unexpected error.
- 16004E Backup creation of iRMC firmware %x aborted. The backup of the previous iRMC firmware still exists.

システムボード交換時に発生した場合：

以下を確認して問題なければ対処不要です。

- iRMC WEB UI で SD card の状態確認

(Tool-> Internal Storage-> Memory Card Information で次のメッセージが表示されていないこと。

「この機能を有効にするには大容量SDカード(SDHC)がシステムボードにインストールされている必要があります。」)

- iRMC WEB UI で iRMC Firmware 版数確認

(System->Running iRMC FW)

- SEL に以下がログされること

iRMC Firmware %x has been successfully restored from SD card.

通常運用中の AC 電源 Off/On 時や iRMC 再起動時に発生した場合：

対処不要です。

12. iRMC Firmware Image Corrupted の SEL 誤検出について

iRMC 起動時に、以下の SEL が誤ってログされる場合がありますが、iRMC 機能に影響はないため、そのままご使用ください。

```
# MINOR iRMC S6 firmware image 1 corrupted
```

または

```
# MINOR iRMC S6 firmware image 2 corrupted
```

13. iRMC Web UI / Restful API で復元できない BIOS 設定について

iRMC WEB UI または Restful API 経由で BIOS 設定をバックアップ&復元しても、下記の項目については設定が反映されません。設定変更した場合は、あらかじめ BIOS 設定を書き留めておいてください。復元後、下記の項目については設定を確認し再設定してください。

- Advanced-> PCI Subsystem Settings
 - Native PCIE
- Advanced-> CPU Configuration
 - C-States Auto Demotion
 - C-States Un-Demotion
 - Package C-state demotion
 - Package C-state un-demotion
 - Enhanced C-states
 - CState Pre-Wake
 - Race To Halt (RTH)
 - Energy Efficient Turbo
 - REFRESH_2X_MODE
 - DMI Max Link Speed
 - Native ASPM
 - Energy efficient CPU Power Limit
 - Voltage Optimizations
 - Per Core P State OS control Mode
 - DMI Gen3 ASPM
 - DMI Link ASPM Control
- Advanced-> Memory Configuration
 - DDR PowerDown and idle counter
 - DDR Speed Control
 - SA GV High Gear

14. CPU の Package C State について

BIOS セットアップメニュー で Advanced->CPU Configuration->Package C-State limit を Auto または C3, C6, C7, C7S に設定しても、C2 までしか省電力は機能しません。

15. ID ボタンの LED 状態について[RX1330M5 のみ]

フロント ID ボタン押下時、稀に LED 表示が正常に動作しない場合があります。ID ボタン押下時は、LED が確実に点灯/消灯したことを確認してください。

16. SEL に記録される Fan Failed および Power Supply failed について[TX1330M5 ベースユニット(300W 電源)のみ]

OS 起動時、または、OS 再起動時に次の二つの Critical イベントが SEL に記録される場合がありますが、

'FAN PSU': Fan failed

'PSU': Power supply failed

数秒後に次の二つの Information イベントが SEL に記録されている場合は問題ないため、そのままご使用ください。

'FAN PSU': Fan is working

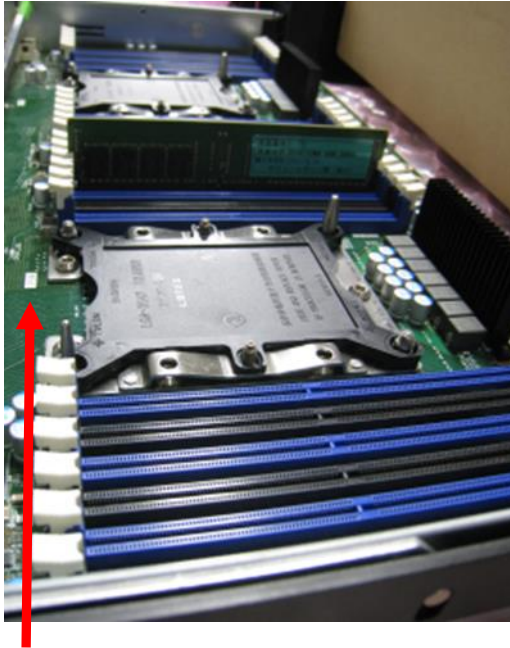
'PSU': Power supply OK

なお、リモート通報の設定をしている場合も上記 Critical の通報がありますが、数秒後に上記 Information が SEL に記録されている場合は、問題ありません。

また、FAN TEST 開始時、終了時にも上記ログが SEL に記録される場合がありますが、問題ないため、そのままご使用ください。

17. Upgrade and Maintenance Manual の補足について

Upgrade and Maintenance Manual の『メモリモジュールの取り付け』において、メモリ取り付け時は接触不良などを避けるため、メモリスロットに一度搭載しロックをかけたのち、再度ロックを外してメモリを搭載しなおしてください。その際、ロックをかけた後、メモリスロットの赤矢印部分が一行になっており、開いていないことを確認してください。



【留意事項】

1. Pentium Gold G6405 プロセッサをサポートする RHEL 版数について

Pentium Gold G6405 プロセッサをご使用時、RHEL のサポート OS 版数は RHEL8.5 以降となります。

2. リモート通報の設定方法について

iRMC S6 を搭載する装置ではサーバ監視・管理について、iRMC 接続が必要となりました。iRMC でリモート通報するためには、iRMC の SNMP トラップ、e-mail Alert の設定などを実施する必要があります。詳細は iRMC S6 のマニュアルを参照して設定してください。

『iRMC S6 - Web インターフェース』取扱説明書

『iRMC S6 - コンフィグレーションとメンテナンス』取扱説明書

3. Internet Explorer 使用について

Microsoft 社の Internet Explorer(以下 IE)サポート終了に伴い iRMC Web UI の IE 及び Edge の IE モードサポートを 2022 年 6 月 16 日(日本時間)に終了いたします。

サポート終了後は、『iRMC S6 - Web インターフェース』取扱説明書を参照し、Edge もしくは他のサポートブラウザをご使用ください。

— 以上 —